

第19回 第4分科会会議録(概要)		場 所	新宿区役所 第一分庁舎7階 研修室
日 時	平成18年3月25日 午後1時40分～午後3時40分	記録者	【学生補助員】 坂巻、落合
		責任者	区事務局(熊澤)
会議出席者：26名 傍聴者0名 (区民委員：21名 学識委員：2名 区職員：3名)			
配布資料 第19回第4分科会会議進行次第、 第1回編集部会まとめ、 第1回世話人会会議まとめ、 第18回第4分科会会議録 進行内容 1 開会 2 本日の議事 (1) 地区協議会との意見交換会報告(3月25日) (2) 班長会議報告(3月13日) (3) 編集部会報告(3月23日) (4) 各班での検討整理 (5) 日程確認 3 連絡事項 4 閉会 会議内容 【発言者】 : 区民委員、 : 学識委員、 : 区職員 1. 開会 (熊澤): 定刻を過ぎましたので、これより第19回第4分科会を始めさせていただきます。それでは進行をリーダーの小宮さんよろしくお願いします。 (小宮): 始めに、本日の午前中に行われました地区協議会との意見交換会の報告を石塚さんから、次に前回3月13日の班長会議報告を板本さんから、次に3月23日の編集部会の報告をさせていただきます。これは、前にお話した時には「起草調整部会」(仮称)となっておりましたが「編集部会」と名称が変わったものです。次に各班での検討整理を行います。そろそろ第4分科会のまとめをきちっとしていかなくてはならないということもありまして、各班のまとめを進めていきたいと思っております。 それでは、最初に地区協議会との意見交換会の報告を石塚さんをお願いします。 (石塚): 本日の朝10時～11時40分に地区協議会との話し合いが行われました。第1～6分科会と地区協議会の皆様に多数お集まりいただきました。その中で、まち美化環境というテーマに沿ってお集まりいただいた方から出たご意見をご紹介します。			

全体的な傾向としましては、第4分科会の中間発表でお話した内容と、地区協議会でお話しになっている内容は、大分重なる所があるというお話をいただきました。中でも、地区協議会の皆様が非常に興味を持っておられるのは、放置自転車の問題で、当分科会ではまち美化班で検討しているところです。放置自転車あるいは放置バイクに関しては、ほとんどの地区協議会で検討しているというお話がありました。例えば、自転車に乗るのを止めたらどうかとか、色々な究極的な意見もありましたが、結局は、鉄道を作る時や建物を作る時に事業者の協力を仰ぎながら、適切な駐輪場を作り、モラルを持ってきちんと利用すべきではないか。あるいはまち美化班からも出ていましたが、四谷地区の一部で実施している自転車のレーン別の歩道を設置することはできないかという提案がありました。他には、緑に関して、屋敷林の問題や相続でどんどん緑が消えているということはどうするべきかということや、生活道路の抜け道規制をしてはどうかということが実際協議会でされているそうです。あとはゴミの循環の話で、商店街のゴミをある一定の規模で集めて、再生するようなことを行ってはどうかという話も出ました。ほかに、学校統廃合で閉鎖になっている跡地の利用法として、例えば粗大ゴミの再生展示場の利用法も考えてはどうかというお話が、お二人の方から出ました。

全体の「モラル・教育」の面が大事で、どなたからもそこがネックであるという話が出ております。だいたい全体の傾向として以上でございます。

(小宮): ありがとうございます。何かご質問はございますか。

: 地区協議会とはどのような会ですか。

(熊澤): 地区協議会というのは出張所ごとに今年度から設け、主に町会の方などが入られて、地域の身の回りの事について個別テーマを決めて検討している組織です。区民会議との違いは、区民会議はあくまでも基本計画・基本構想に盛り込む事項をご提言いただくということで、6月25日の提言が終わると、とりあえずは終了します。しかし地区協議会は身の回りのことについてですので、いつまでという期限はなく検討していく組織になります。

(小宮): ありがとうございます。他に何かございますか。それでは次に移らせていただきます。3月13日に行われました班長会議の報告を板本さんからお願いします。

(板本): 班長会議は3月13日の夕方、交流の場で開かれました。参加者は各班の班長とサブとそれ以外の方で、各班2名参加されました。内容は、前回小宮さんに作っていただいた細かいA4横長の資料について、前回の分科会では検討する時間が短かったために、自分たちの班を超えた所で詳しく話し合いましたという報告がありました。それについて、班長の間でこの内容を詰めようということでも少し話し合いをしたのですが、結論としては、各班でもう少し検討していただきましょうということになりました。吉田さんから、「提案内容というのは沢山あった方がいいので、各班で班会議を開いて、キーワードと提案内容について、例えば『ゴミ回収』をキーワードにすれば、提案内容の方は、『分別の徹底化を図る』ということになりますので、それぞれキーワードと提案について、25日までに班会議を開いて提出しましょう」ということになりました。各班それぞれ、今日までに班会議を開かれたことと思います。それを今日また、話し合いをしていただきたいと思います。それから、ワーキンググループメ

ンバーを誰にするか。6月25日の提言をどういう内容にするかということがあります。前回、植木さんにメンバーになっていただいたところですが、3名を選出する必要がありますので、あと2名を選出しなくてはなりません。どなたかできる方はいらっしゃいませんか。

：嘉藤さんと永井さんではどうでしょうか。

(板本)：他にどなたかいらっしゃいませんか。

いらっしゃらなければ、嘉藤さんと永井さんを推薦したいのですがいかがでしょうか。

(拍手)

では永井さんをご出席ではないので後ほどご意志を確認させていただきますが、植木さんと嘉藤さん、よろしくお願いいたします。

(拍手)

班長会議の報告は以上です。

(小宮)：ありがとうございました。何かご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは次に進めさせていただきます。

(小宮)：編集部会報告については、私の方からご説明させていただきます。

お手元の「第1回編集部会まとめ」と「第1回世話人会会議まとめ」、これは前回私が口頭で簡単にお話した部分で、それから「第3分科会提言まとめスケジュール」の3枚の資料をご覧ください。

初めに「第1回編集部会のまとめ」についてご説明させていただきます。1の部会長の選出ですが、学識委員の窪田委員と第6分科会のリーダーの高野委員が選出されました。2の前回世話人会の決定事項の確認ですが、「第1回世話人会会議のまとめ」をご覧ください。復習になりますが、今度は整理して書いてありますので、分かりやすいかと思います。

「提言書の組み立てについて」ですが、(1)のとおり最終提言書は各分科会ごとにまとめるのではなく、テーマ別にまとめていくということを決まっております。

(2)中間発表会のまとめを活かすということも決まっています。(3)ですが、一定のフォーマットに従って、各分科会で各テーマごとに作成するということになりました。分科会ごとのまとめではなく、テーマごとにまとめるということです。例えばテーマ1を「まち美化環境」とした時、初めに「将来のあるべき姿」、次に「現状の課題」、その後「今後の取り組みの方向性」とすることです。今までの第4分科会の進め方とそれほど違いはなく、もちろん課題も整理されるし、今からまた少し戻って検討し直すということはないかと思います。

(4)「提言書におけるテーマ設定」、「区全体としてのテーマ」、「書式・ページ数」等は、次回の編集部会でまとめることになっています。

(5)6月25日に予定している区長への提言について、どのようなイベントを行うかについてはワーキンググループで検討します。

(6)「起草調整部会」が、この時は(仮称)となっておりましたが、編集部会という名称になりました。各分科会から学識1名、世話人1名の2名ずつが参加して構成されています。

(7)6月25日のイベントについては早急に取りまとめる必要があるため、3月下旬に編集部

会を開催することになりましたが、これは3月23日に実施済みです。(8)ワーキンググループに関しては先ほど出ましたので、省略させていただきます。

ちょっと戻っていただきまして、「第1回編集部会まとめ」の3番目の「構成イメージ」ですが、各分科会ともこれが固まらないとなかなか先に進まないのですが、この日に決まったことは、もう1枚お手元にお配りされています資料「第3分科会提言のまとめスケジュール」をご覧いただきながら、お聞きください。

第3分科会からこの資料が配付されましたが、これは、提言のまとめ方について、こうしてはどうかという位置付けのものです。第3分科会は「都市マスタープラン」という観点でやっていますので、非常に中身が広く、幅が広いということもあり、そういう中でこういうまとめ方をしています。

この中でも幾つかポイントがあります。一つは、今、
、
、
と四角で囲ってありますが、これが「大テーマ」としてご理解下さい。大テーマとは、提案書の一番初めに出て来るテーマの項目です。それから、その大テーマの中に、例えば
の1ですと、「文化・歴史を都市の軸にする」があり、括弧内の「文化・歴史」は、分かりやすくキーワード的に言うという意味合いですが、この1、2、3という各項目が「中テーマ」になると考えていただきたい。私たちがこれからやらなくてはならないのは、この中テーマをきちんと第4分科会として出すことです。その上で、各分科会と同じような内容のものがあれば、私たちの方から、第1から第6の分科会の方と意見交換をしなくてはならない。そういう意味で、一番右側に第3分科会が考えた意見交換を必要とする分科会が書いてあります。

大テーマ、中テーマがここに出てきますが、我々も中テーマをきちんとしないと、この大テーマがこれでいいのかどうか、ということも分からないということがあります。

それから、提言書のまとめの前文として全体を統括するようなことを書くのかどうか、それから全体でどのような組織でいくのかとか、あるいは何ページくらいで作るのかということについてはまだ決まっていません。

それから4番のスケジュールですが、改めてここで確認したいと思いますが、実は4月7日までに「切り口」や「キーワード」を確定させるというのは、私たちの第4分科会では4つから6つくらいで、きちっとキーワードを確定させたいと思います。それで、もし先ほどの第3分科会の案の大テーマに当てはまらないようであれば、新しく大テーマを作ることも可能ですから、そういうことで検討していきたいと思っています。4月7日の第2回編集部会で、とにかくテーマを決めなくてはならないので、それまでには第4分科会のテーマを確定させなければなりません。これが一番初めに行うべきことになります。

それからそれに基づいて、各分科会がテーマを持ち寄りますが、ボリュームとか、仕様を検討して決めたいと思っています。4月下旬には各分科会の調整終了ということで、ゴミ、緑、自転車などの生活環境については、相当第3分科会と重複する点が多いと思います。教育については第1分科会や他の分科会とも絡むかもしれない。また、歴史や文化という切り口から新宿を考えた場合、私たちの意見もそちらと一緒に becoming くるかもしれない。いずれにしても、どこかの分科会と協議しなければならないと思います。4月7日までにきちんと私たちのテーマを決めた上で、他の分科会の方と打ち合わせをして進めていき、5月中旬に各分科会の原稿の

締め切りということになります。

それ以降ですが、6月上旬に編集部会で全体の編集をしながら、分科会で再確認をさせていただきますが、そのような形で進めながら、6月10日に締め切り、出来上がりということで、あとは印刷などをして6月25日の最終提言になるという予定です。

「編集部会」という名称ですが、「皆で作ったものを編集する」という中身ですので、そのままの名称になりました。

以上です。何か質問がありましたらお願いします。

この「第3分科会の提言のまとめスケジュール」の資料に、「各分科会5、6名程度でお願いします」と書いてありますが、第4分科会として事前に出席者を決めてから出席することになるのですか。

(小宮): そうなります。4月4日の第3分科会での「土地の記憶の再生と創造」という大テーマの中に3つのテーマを盛り込んでいるのですが、第4分科会にも関連があると言われていいます。その場に出て、我々の作った第4分科会の内容を持ち寄りながら意見交換したいと思えます。そのメンバーを今日、ご希望募りながら、決めたいと思えますが、それでよろしいでしょうか。

: そのワーキンググループの具体的な動きですが、「編集部会のまとめ」の中のスケジュールですが、どの辺から動くかという所を聞きたいのですが、第2回編集部会である程度まとまってから動き出すのか、また、どういう仕事をするのかを教えていただきたいです。

(熊澤): それでは事務局の方からご説明いたします。6月25日の提言日は決まっていますので、ワーキンググループは早急に立ち上げないと準備が間に合いません。皆さんにお集まりいただいて「何をやっていこうか」という所から決めなくてはなりません。今は各分科会からメンバーを出している段階で、4月の初めぐらいに第1回のワーキングを開ければと、事務局では思っております。

(小宮): 他にございますか。先程の私の説明、少し言葉が足りなかったようですが、4月4日の第3分科会との打ち合わせには、第5分科会の方も見えるかと思えますが、私たち第4分科会は、第3分科会にのみ関わることだけではないような気もしています。そういう意味では、関連する全部の分科会に出るのは不可能ですから、4月4日には私たちの中身を見ていただきたいと第3分科会の方をお願いしてあります。

あとご質問ありますか。

(熊澤): この第3分科会の件に付きまして、事務局の方から補足をさせていただきたいと思えます。前回の起草調整部会で、「どういう提言書にしていくのか」ということから編集部会で決めることになりました。第1回の編集部会の時にたたき台がないと時間がかかるので、第3分科会から見たこの提言書というのは大体このようなイメージになるというものをたたき台として出していただいたという状況です。それが今、お手元に渡っているものです。大きく分けて、ローマ数字の ~ までの「土地の記憶」から「われらの新宿」までのというように、第3分科会では都市マスタープランから見た叩き台を用意してもらいました。第4分科会

としましては、まだその場に出せるものではありませんでした。それから、この第3分科会の提案が、全体の意見として決まったということではありません。「第4分科会としてはどう考えるか」というものを出していかななくてはなりません。また、第3分科会では、こういう形で進めていきたいので、関連する分科会の方と一緒に意見を交換できたらという希望がありまして、このような日程で会議を進めていきますので是非関連する分科会の方にご出席いただきたいということです。それを受けまして本日小宮さんから、出ていただける人を募ってはどうかというお話になっております。この提案で全体が決まったということではなくて、第4分科会としては、第4分科会としてのまとめの方向を作って示していけば良いということですので、お間違えないようよろしくお願いいたします。

(小宮): ありがとうございます。そういうことですのでよろしくお願いいたします。何かご不明な点がございましたら、ご質問をいただきたいと思います。

: この第3分科会の提言のまとめということですが、他の分科会でもこれをやるのですか。これと同じようなことを出すという話でしょうか。

(小宮): この「第3分科会の提言のまとめのスケジュール」というのは、出たのはこれだけなんですけど、第1~第6までの分科会で、進め方や現段階での考えが少し違うところがあります。ある分科会では、このようにきちんと大テーマをまとめていただいて、そこに入れ込んでいった方がよいという案もありましたが、私たちが申し上げたのは、「環境のテーマできちんと見ているので、そのテーマをきちんとした上で、提案された体系にあてはまらなかったら新しい体系を作りたい」という話をしています。ですので、決まったものではありません。ただ、大切なのは、都市マスタープランを作る関係がありますので、なるべく尊重した方がよいかなと思います。私の場合は、我々のやっている環境という切り口を、是非この中に上手く盛り込んでくれるよう「良い言葉で考えて」と、言っております。

: これを見るのは初めてで、若干戸惑いはあるのですが、私は、全体の流れとしてはこういう方向で行くのは、特に我々の意見が反映されない訳ではないので大丈夫であると認識しています。ただ、これはあくまでも第3分科会が作ってきたたたき台であること、それに対して第4分科会として、この中に入れ込めるものは同じように、あるいは表現を変えて持っていけばいいのでしょうか。さらにこの中テーマというものを、もう一回我々の立場で見直していけばよいのではないかと思いますので、私は全体の大きな流れとしては、特に反対すべきものはないと思います。

ただ、中テーマが幾つかありますが、我々も中テーマを見直しして、あるいは同じような物を作ったらどうか。また、前回の班長会議の中で、それぞれ提言をきちんと整理しましょうということがありましたが、それがどの辺の位置づけに入ってくるのか。例えば今言われた中テーマに、どういうレベルで、どういうボリュームで織り込んでいくのかということになります。各班がどういった提言を、どのレベルで作るかということ、単に羅列するだけじゃなくて、中身も考えなくてはならないと思います。それにしても第4分科会としての意識レベルとして大切なのは、4月7日までに、この大テーマと中テーマを決め込むことだと思います。細かい所は今までの中間発表も含めて、それぞれやっているの、そのまとめはその後でも間に合うのではないかと私は感じています。

(小宮): 他にございますか。よろしいですか。

それでは、第4番目の各班での検討整理になりますが、前回の班長会議で、今日の分科会の時に、各分科会が今までの経緯を踏まえて、足りないものを入れたり、あるいは今書いてあることを補足したりしながら、各班が最終提言を目指して作って来ることになっています。今日初めての話で今すぐ決定することは難しいと思いますが、中分類としてのテーマ、言ってみれば第4分科会のテーマをしっかりと、もし「この第3分科会の大テーマの中に全然入らない」ということがあれば、「こういうテーマはどうか」と大テーマを考えても良いかと思いますが、いかがでしょうか。

先走って恐縮ですが、そろそろ第4分科会のテーマを決めて、全体を見通していける形を作っていかなければなりません。残す時間もあまりありませんので、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは現在13時30分ですから、15時30分ぐらいまでご検討ください。

(小宮): 度々すみません。中間発表会のまとめの中で、「ハード・ソフト・ハートのバランスがとれた環境配慮型都市」というのが、中間発表会当時の第4分科会の大テーマでした。そしてこの下にある5つが中テーマでした。これらについてそれぞれ、キーワードや提案が書いてありました。今回は、第1から第6までの分科会の中でテーマを決めて進めていこうと決めましたので、私たちとしては、この5つの中テーマとして考えて、それを基にキーワードと提案で書いていくと分かりやすいのではないかと思います。その後の修正もあるかと思いますが、第4分科会としてはそれをまず置いて、このテーマでキーワードと提案の中身を決めて提案しましょう。できれば、それを総合した形での大テーマをきちんと書いて持っていけば良いのではないかと思います。

(吉野): みなさんご苦労様です。今お話があった通りだと思うのですが、第4分科会では1つの大テーマで良いんだと思います。大テーマを沢山作るのは難しい。区全体の大テーマを幾つも設けるとするのは難しいかなと思います。そういう意味ではこの目的の部分が、とりあえずの大テーマになっています。またさらに表現があればこれから考えていきますけれども、中間報告でもう既に立派な中テーマができていますから、ここからまず出発したらどうでしょうか。具体的に何をやるのかというと、「世話人会会議のまとめ」の中にフォーマットができていますので、このフォーマットをそれぞれのテーマについて、「将来のあるべき姿」「現状と課題」「今後の取り組みの方向性」を作っていくことが一番まとめやすいと思います。これが中テーマになります。これを編集部会に出し、そこで同意を得てまたこちらへ持ち帰って来る、というようなことになるのではないかと思います。これをどのくらいのペースでやればいいのかというと、今日はそんなには進められないでしょうから、これを一つひとつ中テーマとして位置付けながら、書かれているフォーマットに従って、とりあえずまとめたらどうでしょう。もう既に皆さんの間で、「将来のあるべき姿」「現状と課題」「今後の取り組みの方向性」について議論が出ていますので、この中間報告書にもう一度立ち帰って、そこを上手くまとめられたら良いのではないかと思います。何かご質問はありますか。

: ちょっと確認します。教育学習の班ですが、この5つのテーマに沿って、中間発表までに

まとめた教育学習のまとめと、さらに出た意見を合わせて、「将来のあるべき姿」「現状と課題」「今後の取り組みの方向性」というように考えて、出していけばよろしいのですか。

(吉野): はい。新しく出た意見は取り込んでいけば良いと思います。ちょっと確認ですが、(中テーマを上から順に見ていって)これはどちらかというと、まち美化班ですかね、これは温暖化チーム、これらは環境教育ですかね、これは緑か環境教育。問題はこれ(「3つの市民による・・・」)ですが、(一番下の中テーマを指して)これはどこになるのでしょうか。ないですよ。これは区全体の位置付けから入れた方がいいのですが、個人的には無理して第4分科会で言うべき内容ではないと思います。これは実はどこにも入るべき所はないのです。緑と環境教育を分けてやるか、あるいは一緒にしてやるか、どちらでもいいと思いますが。

: 下を外して、上の2項目の小枠を、中間の枠組みで4つで分類した形にすれば済むのではないですかね。

(吉野): 無理して入れることはないと思います。そういうことでどうでしょうか。

: そうですね。一番下のテーマは4つとは違います。質が違う問題で、主体はあくまで3つの市民だということで、主体の問題を言っているので、テーマは4つとは違いますけど、あくまで共通するテーマとして入れたのでしょうか。

(吉野): そうなのでしょう。スタンスが違います。

: ちょっと違うのですが、一番下の問題は、環境教育という面で枠を捉えていたのです。結局、個別でやっても無理があるので、全員で考え方のベースを少しアップさせようと。そのキーワードは環境教育チームにかなり関連していると思います。あとエコ・エコで取っているものも、どういう切り口をするかということだけで、狙いとしてもそういう要素は非常に大きく盛り込まれていると思っています。

(吉野): これは実はどの分野にも相当する内容で、横に並べるというより、横断的な内容です。どういう所で取り組むにしても、3者の主体が一緒になってやりましょうと、ということなのでしょう。いずれにしても、この第4分科会で敢えてこれを取り扱う必要性はないかと思いません。

(遠藤) 横断するのでしたら、それが大テーマになるということはないでしょうか。

(吉野): 横断というのは、第4分科会だけではなく、色々な分科会に共通することではないか。そういう意味では特殊性がなく、これを大テーマにしても第4分科会を代表する特殊性が反映されない。もっと大きな、大テーマ以上の問題になるのではないのでしょうか。

(吉田): これは、皆さんが決めていけばいい問題ではないかと思えます。今先生がおっしゃったように、この4つ目の話というのは、第6分科会が取り組む話です。ただ、中間発表会で皆さん感じられたかと思えますけれども、第6分科会のテーマは抽象的です。彼らは、抽象的な中で、一生懸命議論してまとめようとしているのです。この話を具体的に議論しようとすると、何かテーマを見つけないと議論できません。例えば緑の問題を取り上げて論じるなど、具体的なテーマをあげないと難しい話です。ですので、吉野先生がおっしゃられたことは、ごもっともだと思うのですが、一方で、他の分科会に、例えば特に第6に対して、環境で取り組む時には3つの市民の協働について具体的な提案の仕方ができるのではないかと思えます。というより、環境の問題がある意味で一番「3つの市民」が衝突すると思えます。つまりは利害

が関わってくる訳です。その中でどうやって色々な議論をしながら、上手い仕組みを作り、皆にとってプラスになるような結論が出るのかということを考えていくのか。本当は第6がそこを自治あるいはコミュニティという概念で捉えていこうとしている具体論を、ある意味では我々第4とか第3とか第5とかが提供していくのが理想ではないかと思います。ですので、色々なサブテーマを考える時に、必ず「じゃあ具体策をどうするか」という話になった時に、区民だけで実行することは当然あり得ないことだと思います。区民が最初に「やりましょう」ということはあるかも知れませんが、区民だけで実行していこうということはないと思います。ある時には行政を巻き込んだり、あるいは区民が前面に立ったりとか、色々な形があると思いますが、そういう連携の考え方というのは色々なパターンがあると思います。それを各提案の中に散りばめていく。確かに吉野先生がおっしゃられるように、最終的には第4分科会としては、このことを敢えて1つのサブテーマとして言う必要性がなくなるかもしれません。ただ、精神論としては横割りの話でもあるので、それを前文で説明するときに、我々はこういう取り組みに関してやっているのだと言っておきたい。特に環境教育班は、それを育てていくということも一つ重要なことだとお考えのようですから、それも尊重して取り込んだ方がいいかなと、個人的に思います。ただ、これは私と吉野先生の意見ですので、是非皆さんで議論して、また班長会議の方でもう一回整理していただければ良いのではないかと思います。

(小宮): 時間が15時30分を回りましたので、本日は終わりにしたいと思います。それでは日程確認ですが、次回以降の会議日程は、第20回から第24回までは次第に書いてあるとおりの日時・場所になります。第24回だけ会場が未定になっています。

3 連絡事項

(小宮): 次回の班長会議、これは4月3日、18時30分から交流の場で行いますので、是非、班長以外の方もご参加下さい。そろそろまとめ上げて行く段階ですので、なるべく多くの方のご意見を基に班長会議を進めたいと思っています。それから確認になりますが、第3分科会との意見交換会ですが、4月4日、18時30分から第二分庁舎2- 会議室で開催しますので、班長会議で各班一人ずつ、必ず出席するように決めていきたいと思っています。班長の方はよろしくをお願いします。

では事務局で何かございますか。

(熊澤): 皆さん、お疲れ様でした。6月の18日の第1回から始まりまして、もう19回を迎えました。もう大詰めで、あと5回、6回になってしまいました。企画政策課職員として、私も昨年6月から関わってきた訳ですが、人事異動により、4月から企画政策課より教育委員会に異動することになりました。せっかく皆さんと仲良くなれたので、これからもできる限り私もお手伝いさせていただきたいと思っております。

また今後、皆さんの素晴らしい提言が提出されることを確信しまして、私の退任のご挨拶とさせていただきます。

(植木): 是非、この次の4月7日の分科会が終わってから熊澤さんのこれまでのご尽力を労い、今後のご活躍に向けて皆で声援を送る「区民法廷」(懇親会)を開きたいと思いま

すが、皆さんよろしければご参加ください。

(植木): できれば、班長会議ぐらいまでに人数の方を決めていただけると、会場を押さえやすいのですが。場所はここから歩いていける範囲で、20人から100人くらいで、予算は大体3000円位を目途に考えますので、よろしく願い致します。

(拍手)

(熊澤): 植木さんからご提案がありました懇親会に私も参加させていただきます。短い時間ではございましたが、有難うございました。また、今後ともよろしく願いたします。

(拍手)

4 閉会

以上